臨時増刊
予算特集号
2012 4/25
No.1062

広報 長岡京

子どもたちの未来へ 踏み出す一歩

今年度は市制施行40周年の節目の年。成熟した大人のまちとして、新たな時代への一歩を踏み出します。阪急新駅を中心とした都市基盤の整備や公共施設の耐震化、地域力の向上、文化力の創出など、足元の課題をしっかりと見つめ、子どもたちの未来へつなぐまちづくりを進めていきます。市民の皆さんからお預かりした大切なお金の使い道についてお知らせします。

【写真】木の香りとぬくもりを感じる園舎に、子どもたちの笑い声が響く（4月12日、今里保育園で）

長岡京市のお金の使い道

平成24年度一般会計予算

238億5,490万円

（前年度比 2.3%↘）

市民一人あたり

29万8,911円

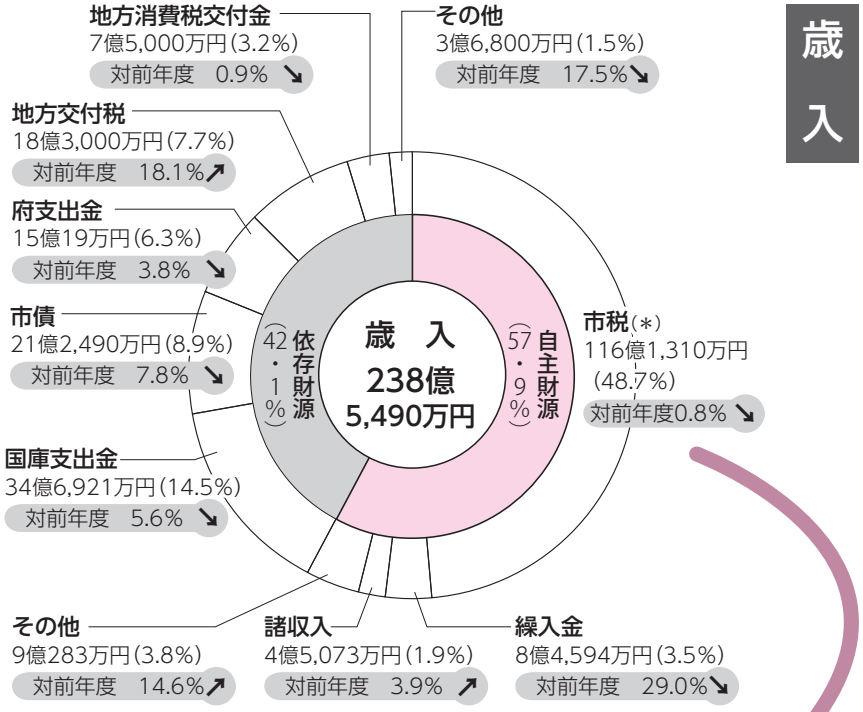
今年度の一般会計の予算総額は、238億5490万円。前年度と比べて5億5870万円（2・3%）の減少となりました。限られた財源の有効活用を図るため、事業を一から見直し、重点施策へ優先的に予算を配分しました。みなさんに納めていただいている税金などがどのように使われるのかをお知らせします。

問 財政課 財政係
☎955・9541
FAX951・5410

今年度予算のポイント

歳入

▽市税のうち「法人市民税」は4404万円（6・7%）の小幅な増を見込むものの、市税全体では9613万円



（＊）市税の内訳

区分		24年度	昨年度からの増減	
市民税	個人	47億3,785万円	△3,600万円	△0.8%
	法人	6億9,925万円	4,404万円	6.7%
	計	54億3,710万円	804万円	0.1%
固定資産税		48億4,556万円	△8,063万円	△1.6%
軽自動車税		6,763万円	195万円	3.0%
市たばこ税		3億3,370万円	△1,080万円	△3.1%
都市計画税		9億2,911万円	△1,469万円	△1.6%
合計		116億1,310万円	△9,613万円	△0.8%

＊表の△は、マイナスを表しています。

市制40周年 新しい時代へ 8万市民とともに

長岡京市長 小田 豊

平成24年度は、本市にとって市制40周年を迎える節目の年にあたります。自治の原点を見つめ直し、成熟した大人のまちとして、新しいステージへ向かって歩み出す重要な一年になります。

今年度予算では、引き続き第3期基本計画の推進に向け

（0・8％）の減収
▽国や府から入るお金など「依存財源」は国庫支出金や府支出金が減少したため2億4947万円（2・4％）の減収

歳出

■目的別（下グラフ）

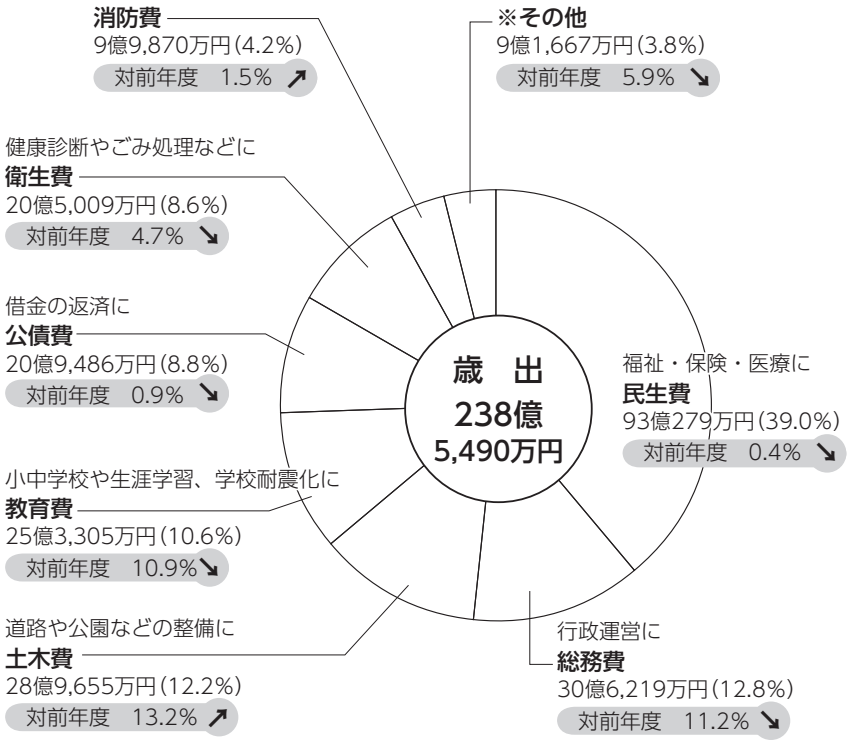
▽主に福祉に使われる「民生費」は子どものための手当（児童手当）の支給月額が前年度当初予算よりも減らしたことによる減額
▽「土木費」は阪急新駅周辺の整備事業の工事が本格的に動き出すことにより増額

■性質別（下表）

▽社会保障に使われる「扶助費」は子どものための手当（児童手当）の支給月額が前年度当初予算よりも減らしたことによる減額
▽「人件費」は大量退職のピークをすぎ、退職金が減ることから減額
▽「投資的経費」は小中学校の耐震化事業を前年度に前倒し実施したことから減額
▽特別会計などへの「繰出金」は、介護保険事業特別会計への繰出しが増額
▽「補助費等」は乙訓消防組合への負担金などが増えることにより増額

歳出（目的別）

＊経費を行政サービスの目的ごとに分類



※その他の内訳

議会費 3億4,559万円（1.4％） 対前年度 10.9％ ↘	**商工費** 1億9,047万円（0.8％） 対前年度　8.3％ ↗	**予備費** 3,200万円（0.1％） 対前年度　0.0％→
労働費 2億2,807万円（1.0％） 対前年度 10.8％ ↘	**農林水産業費** 1億2,054万円（0.5％） 対前年度　2.0％ ↘	

■歳出（性質別）

＊経費を人件費や物件費などの性質によって分類

区　分		予算額	構成比（対前年度比）
義務的経費（構成比52・9％）	人件費	51億1,403万円	21.4％（△6.6％）
	扶助費	54億340万円	22.7％（△0.6％）
	公債費	20億9,486万円	8.8％（△0.9％）
消費的経費（構成比27・5％）	物件費	28億4,775万円	11.9％（△1.2％）
	維持補修費	1億1,242万円	0.5％（5.1％）
	補助費等	35億9,901万円	15.1％（1.1％）
投資的経費（構成比7・0％）	普通建設事業費	16億7,958万円	7.0％（△9.0％）
その他経費（構成比12・6％）	積立金	3億7,615万円	1.6％（△8.1％）
	貸付金	1億9,648万円	0.8％（3.9％）
	繰出金	23億9,922万円	10.1％（1.6％）
	その他	3,200万円	0.1％（0.0％）

＊表の△は、マイナスを表しています。

＊グラフや表の金額は、単位（万円）未満を四捨五入しています。

て精力的に取り組んでまいります。市民サービスの安定供給など、持続可能な行政運営のためには、健全な財政を維持することが基本となります。今後とも経費の削減や合理化など不断の努力を続けていきます。その中で、事業の選択と集中、優先順位の見極めによる予算配分を行い、全ての事業を吟味し、事業費の精査に努め、予算を編成しました。

本年度は、まちの活性化に向けた新たな拠点となる阪急新駅を中心とした南部地域の整備を着実に進めてまいります。また昨年度、盛会のうちに終了した国民文化祭をきっかけに、より一層の文化力の向上、定着を図りながら、持続可能な市政運営に努めてまいります。さらに本市の将来都市像である「住みつづけたい　みどりと歴史のまち長岡京」の実現に向けて、「環境」「健康」「安全」を基本に、「まちと市民（ひと）が元気、安心・希望予算～市制40周年 新しい時代へ 8万市民とともに～」として、足元の課題をしっかり見つめ、子どもたちの未来につなげるまちづくりを目指します。

まちと市民（ひと）が元気、安心・希望予算
～市制40周年　新しい時代へ　８万市民とともに～

5つの重点テーマ

上：建設が進む阪急「西山天王山駅」（４月）／
下：ガラシャ祭での大河ドラマ誘致のゆるキャラショー（昨年11月）

1　「交流・活力・にぎわい」の創出

まちの活性化のために…新たな拠点として今年度末に開業予定の京都第二外環状道路（にそと）、来年度下半期中の開業を予定する阪急「西山天王山駅」。南の玄関口として、駅前広場やパークアンドライド駐車場などの整備を進めていきます。新駅の開業によるバス路線の再編に向け、交通事業者や市民、学識経験者、関係行政機関で組織する会議の場で検討し、「地域公共交通ビジョン」を策定します。まちのにぎわいづくりに向け、府内７市１町で連携して大河ドラマの誘致活動にも力を入れます。

▷阪急新駅を拠点としたまちづくり事業（駅舎工事の負担金、駅前広場や駐輪場などの整備、にそと周辺の緑地空間の設計）‥‥ ５億6,479万円
▷「地域公共交通ビジョン」の策定‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥818万円
▷アゼリア通りのバリアフリー化など中心市街地整備の検討…500万円
▷細川ガラシャらを主人公とする大河ドラマの誘致活動‥‥‥‥49万円

2　環境、市民が誇る「水」・「みどり」の保全

環境保全に向けて…策定から10年が経過し、新たな環境課題に対応するために、市民参加で「環境基本計画」の改定に取り組みます。エネルギー対策の普及啓発として、防犯灯や庁舎内の照明のLED化を進めると共に、電気自動車の導入などを図ります。また、西山環境教育に加え、小学生を対象にした景観学習も実施します。

▷市民参加のワークショップの開催や、仮称「低炭素タウン長岡京」構想の調査研究など、「環境基本計画」の改定‥‥‥‥‥‥‥‥‥282万円
▷中小企業への環境マネジメントシステム（KES）導入補助‥‥‥25万円
▷防犯灯や市役所庁舎ロビーなどのLED化の推進‥‥‥‥‥‥‥288万円
▷住宅用太陽光発電システムの設置助成‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥250万円
▷西山森林整備推進協議会への助成や、里山林再生事業、立石林道の整備事業など、西山の保全や森林整備のための支援‥‥‥‥2,061万円
▷小学生を対象にした西山環境教育や景観学習‥‥‥‥‥‥‥‥60万円
▷農地保全のための有害鳥獣対策や土地改良事業の支援など…1,356万円

上：「環境基本計画」改定の市民ワークショップ（昨年10月）／下：西山環境教育（昨年4月）

上：地域子育て支援センターで遊ぶ親子／中：対象が拡大する子育て支援医療費助成（９月開始予定）／下：徘徊する認知症の人を保護する模擬訓練の様子（2月）

3 安心、いきいき「健康・福祉」の推進

子育て家庭や高齢者の支援など福祉を向上…子育て支援医療費助成の対象年齢の拡大や、病後児保育に加えて病児保育を新たに実施するなど、子育て支援に力を入れます。待機児童対策として、民間保育園や認可外保育園への運営助成も拡充しました。高齢者への支援としては、医療機関との連携による認知症対策支援や、緊急通報装置の設置要件の緩和などにも取り組みます。また、国民健康保険料の料率の変更による引き上げを抑えるための特別支援も実施します。

健康を守るために

▷子宮頸（けい）がん、ヒブ、小児用肺炎球菌ワクチンの無料接種…6,240万円
▷子宮頸（けい）がん、乳がん、大腸がんの無料検診……1,107万円

安心な暮らしを守るために

▷自宅療養する人に対する「訪問看護療養費」の支援を開始 ……175万円
▷高齢者世帯が緊急時に消防署に通報できる「緊急通報装置」の設置要件を緩和し、その費用を助成……158万円
▷国民健康保険料の引き上げを緩和するための特別支援……7,000万円
▷医療機関との連携による認知症対策支援事業（介護保険会計）…600万円
▷民間の保育園と小規模特別養護老人ホームとの複合施設の誘致に向けた土地取得など（債務負担行為の設定）…… 1 億3,500万円

子育て支援

▷子育て支援医療費の対象を３歳～就学前までに拡大… 1 億2,955万円
▷済生会京都府病院で、病後児保育に加えて病児保育を開始…2,637万円
▷待機児童対策として民間保育園や認可外保育園への運営助成を充実……1,750万円
▷子育て家庭の不安解消や孤立化を防ぐために、つどいの広場や地域子育て支援センターの運営支援 ……1,687万円

学校教育の推進

▷ ICT 環境の整備のために教育用システムの再編、デジタル教材を充実し、全ての普通教室に大型モニタの導入など……6,079万円
▷小中学校の読書活動や英語教育の充実……3,109万円

借金と預金は？

■市債（借金）

昨年度に比べて、建設事業債や臨時財政対策債の発行は減るものの、発行額が償還額よりも上回るため、昨年度に比べて増えます。

■市債（借金）残高の推移

20年度末	215億9,034万円
21年度末	215億4,179万円
22年度末	225億1,576万円
23年度末	236億6,671万円
24年度末	240億7,160万円

＊数値は一般会計。
23・24年度は見込み額です。

■財政調整基金（預金）

「財政調整基金」は、不況による大幅な税収の減少や災害発生など思わぬ支出の増加に備えた積み立てです。事業の見直しを行い、基金の取り崩し額を抑えています。

■財政調整基金（預金）残高の推移

20年度末	19億5,308万円
21年度末	18億2,789万円
22年度末	22億7,310万円
23年度末	24億7,393万円
24年度末	20億3,881万円

＊数値は一般会計。
23・24年度は見込み額です。

上：耐震化工事が完了した長岡第三小学校の南棟／中：ふれあいの居場所での参加者の笑顔／下：バンビオ広場公園で開かれた国民文化祭オープニングイベントでの一場面（昨年10月）

4 「安心・安全」のまちづくりの推進

▷東日本大震災の教訓を踏まえ、帰宅困難者や要配慮者への支援などを盛り込んだ「地域防災計画」の見直し ……485万円
▷保育所や学校の給食の放射能測定システムの導入……800万円
▷小中学校の耐震化 …… ２億2,046万円
▷深田保育所の耐震化補強工事……8,318万円
▷老ケ辻（おいがつじ）歩道橋の全面リニューアル …… １億6,200万円
▷ 橋 梁（きょうりょう）長寿命化計画の策定 ……700万円
▷雨水・浸水対策のための風呂川排水区の雨水貯留施設の整備（※）…7,620万円
▷公共下水道の長寿命化計画の策定（※）……5,240万円
※…下水道会計

5 「地域力」の向上・「文化力」の創出

▷ふれあいの居場所づくりのための“コミュニティカフェ”の立ち上げ支援事業 ……53万円
▷市民活動応援補助金……166万円
▷自治会活動への支援……1,922万円
▷ポスト国民文化祭として、「オーケストラの演奏会」への運営支援、バンビオ広場公園でのコンサート……150万円
▷長岡京音楽祭や乙訓文化芸術祭への支援……240万円
▷恵解山（いげのやま）古墳を史跡公園として整備（平成26年度完成予定）…１億879万円
▷長岡天満宮境内に「古今伝授の間」ゆかりの地の石碑を建立 …400万円
▷長岡第七小学校のグラウンドの芝生化……592万円

予算を家計簿に例えると？

24年度の一般会計予算の総額を、市民一人あたりに換算すると約30万円。この金額を月収に例えて、１カ月あたりの家計簿を作ってみました。切り詰めながら工夫しましたが、支出の合計が収入を上回ったため、不足分を補うために預金を切り崩し、家のリフォーム費用の一部にローンを組んで工面しました。

毎月の収入	
給与（市税・財産収入など）	15万3,087円
手当・臨時収入（交付税や交付金など）	9万9,208円
パート・アルバイト収入（分担金・負担金、使用料・手数料）	9,390円
＋	
預金引出し（繰入金）	1万600円
借金（市債）	2万6,626円
収入合計	29万8,911円

毎月の支出	
食費（人件費）	6万4,081円
医療費（扶助費）	6万7,707円
光熱費・被服費（物件費）	3万5,683円
塾の月謝・保険料など（補助費等）	4万5,097円
家具などの修理（維持補修費）	1,409円
家のリフォーム（投資的経費）	2万1,046円
ローン返済（公債費）	2万6,249円
仕送り（繰出金）	3万63円
預金（積立金など）	7,576円
支出合計	29万8,911円

ムダを省き サービスを向上

■財政運営の工夫
▷人件費を対前年度６千万円抑制
▷予算を精査し、経常的な経費を３千万円縮減
▷財政調整基金（預金）の取り崩し額を対前年度３千万円の縮減
▷新たな市債（借金）の発行を対前年度１億８千万円縮減

■利便性の向上
▷バンビオでの図書館の本の貸し出しを開始
▷市税や国民健康保険料などのコンビニ収納の開始
▷教育支援センターの土曜日開館

一般会計の他には？

ここからは、特別会計と水道事業会計の予算をお知らせします。どちらも一般会計とは別に経理しています。特別会計は、特定の事業を行うための会計、水道事業会計は公営企業の会計です。

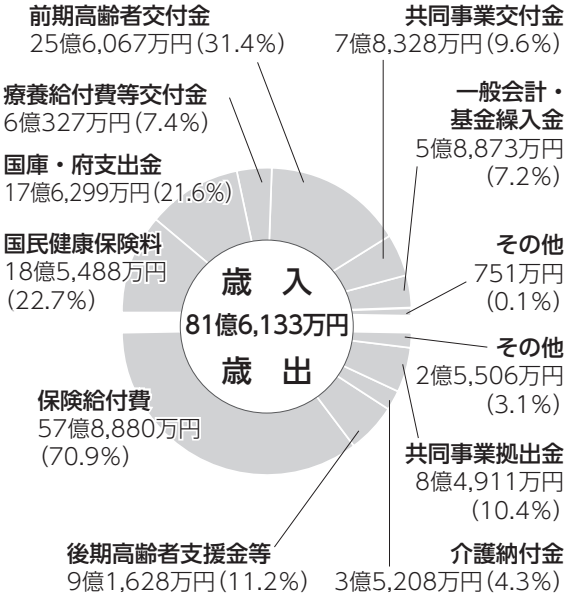
国民健康保険事業の特別会計

前年度と比べて7億925万円（9・5％）の増加となりました。

60歳以上の被保険者の給付額の増額などにより、歳出は増加傾向が続いています。国民健康保険の主な財源は、加入者が納める保険料や国・府からの支出金、一般会計からの繰入金などです。

■保険料の引き上げを抑制

高齢化の進行や加入者の所得の減少などにより保険料収入の確保が年々難しくなる一方、歳出は年々増加の傾向にあります。増加する歳出を賄うためには、保険料を引き上げる必要がありますが、保険料の大幅な引き上げを抑えるために、今年度も一般会計や財政調整基金からの繰り入れを行いました。



■予算の推移

20年度	66億1,819万円
21年度	70億8,874万円
22年度	72億5,038万円
23年度	74億5,208万円
24年度	81億6,133万円 9.5%⇗

問国民健康保険課 国保係 ☎955・9511 FAX951・1929

介護保険事業の特別会計

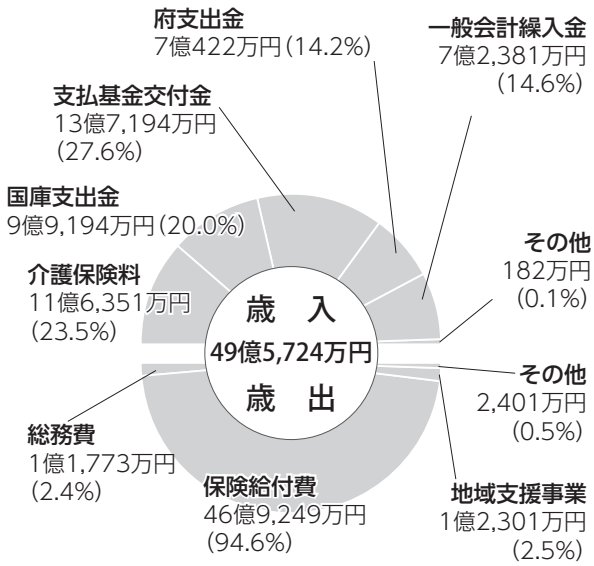
前年度と比べて3億1131万円（6・7％）の増加となりました。予算は「長岡京市第5期介護保険事業計画（平成24～26年度）」にもとづく利用見込みから編成しました。

■高齢化による要介護認定者の増加

本市の高齢化率は21・9％（平成24年4月1日現在）で、昨年度と比べて0・7％増加し、年々上昇しています。

それに伴い、要介護認定者数も約6％の増加を見込んでいます。

歳出のうち、保険給付費は要介護認定者と介護サービスの利用者の増加により、前年度と比べて6・7％増加しています。



■予算の推移

20年度	37億5,572万円
21年度	41億2,961万円
22年度	44億7,902万円
23年度	46億4,593万円
24年度	49億5,724万円 6.7%⇗

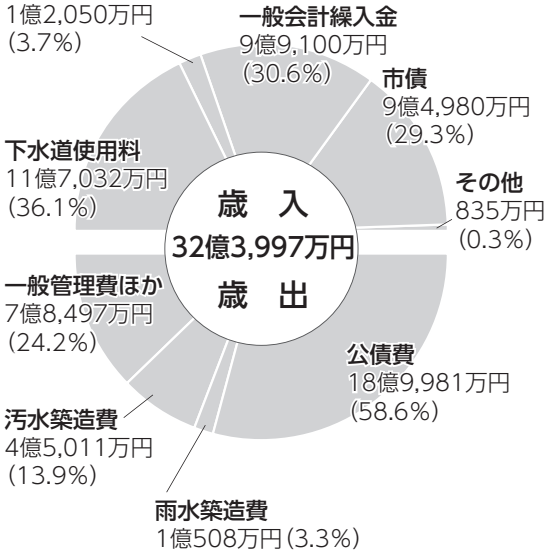
問高齢介護課 介護保険係 ☎955・2059 FAX951・5410

公共下水道事業の特別会計

前年度と比べて2億3467万円(7・8%)の増額となりました。

京都第二外環状道路事業の進捗(しんちょく)に伴う下水道の未普及地区への新設工事費は一時的に増額しますが、来年度で新設工事はほぼ完了します。今後は古くなった下水道管を計画的に改修・更新するための費用が工事費予算の中心となります。

歳出の中で、大きな割合を占めているのが公債費で、今までの工事にかかった借入金の返済額を表しています。歳入の市債(新たな借入額)よりも、元金の返済額である公債費が大きいため、借入金の残高も緩やかに減少する予定です。



■予算の推移

20年度	32億　70万円
21年度	32億1,642万円
22年度	29億3,511万円
23年度	30億　530万円
24年度	32億3,997万円　7.8%⇗

■災害に強いまちづくりを目指して

大雨による浸水被害を防ぐために、今年度末の完成をめざして、風呂川排水区の野添公園の地中に雨水の貯留施設を建設しています。あわせて、犬川排水区の基本計画の変更や、京都府いろは呑龍(どんりゅう)トンネル雨水南幹線の整備計画に伴い、本市の雨水整備も進めています。また、老朽化した下水道管を継続的に、安全に使用するために「下水道長寿命化計画」を策定します。計画的に下水道管の改修・更新をすることで、一時期に集中する維持管理費用を均等にならし、下水道事業を健全に運営できるよう整備方法を検討します。

問 上下水道部 総務課 下水道係 ☎955・9538 FAX951・2200

水道事業会計

水道事業は公営企業として、市の一般会計や特別会計とは別に、料金収入を主とした独立採算制で運営しています。

水道事業会計は、お客様に水道水をお届けするための「収益的収支」と投資的経費として水道施設を整備・改修するための「資本的収支」があります。

■安定した水供給に向けて

本市の「水道ビジョン」実現に向けて、平成22年度から平成26年度までの5カ年を計画期間とする「水道事業中期経営計画」をもとに今年度の予算を編成しました。

主な事業は、給水区域統合事業として、2年間をかけて北配水池の築造工事や周辺の配管整備工事に着手します。あわせて、基幹管路の耐震化や鉛製給水管の取り替え、老朽化した配水管の更新を行います。また、地下水を将来にわたって活用していけるように、新たな浄水施設を設け、より安全な処理方法への変更を検討しています。今年度は、変更に伴う国への認可申請の業務委託を予定しています。

■収益的収支(税込み)

収益的収入	水道料金	20億7,810万円
	受託工事収益	8,981万円
	一般会計補助金	4,262万円
	下水道徴収受託料ほか	9,022万円
	計	23億　75万円
収益的支出	府営水道受水費	9億　812万円
	減価償却費	4億1,568万円
	人件費	2億3,100万円
	受託工事費	1億　683万円
	修繕費	1億6,326万円
	動力費ほか	4億7,948万円
	計	23億　437万円
当年度純損失		362万円

■資本的収支(税込み)

資本的収入	企業債	3億2,000万円
	加入金・分担金	1億1,013万円
	負担金ほか	250万円
	計	4億3,263万円
資本的支出	建設改良費	6億7,122万円
	企業債償還金	2億1,708万円
	計	8億8,830万円

問 上下水道部 総務課 水道係 ☎955・9538 FAX951・2200

広報長岡京 '12・4・25
●発行 長岡京市役所 ☎951-2121(代) ●編集 情報管理課 〒617-8501 開田一丁目1番1号 ☎955-9660 FAX955-9703
古紙パルプ配合の再生紙を使用 PRINTED WITH SOY INK 大豆油インクを使用